

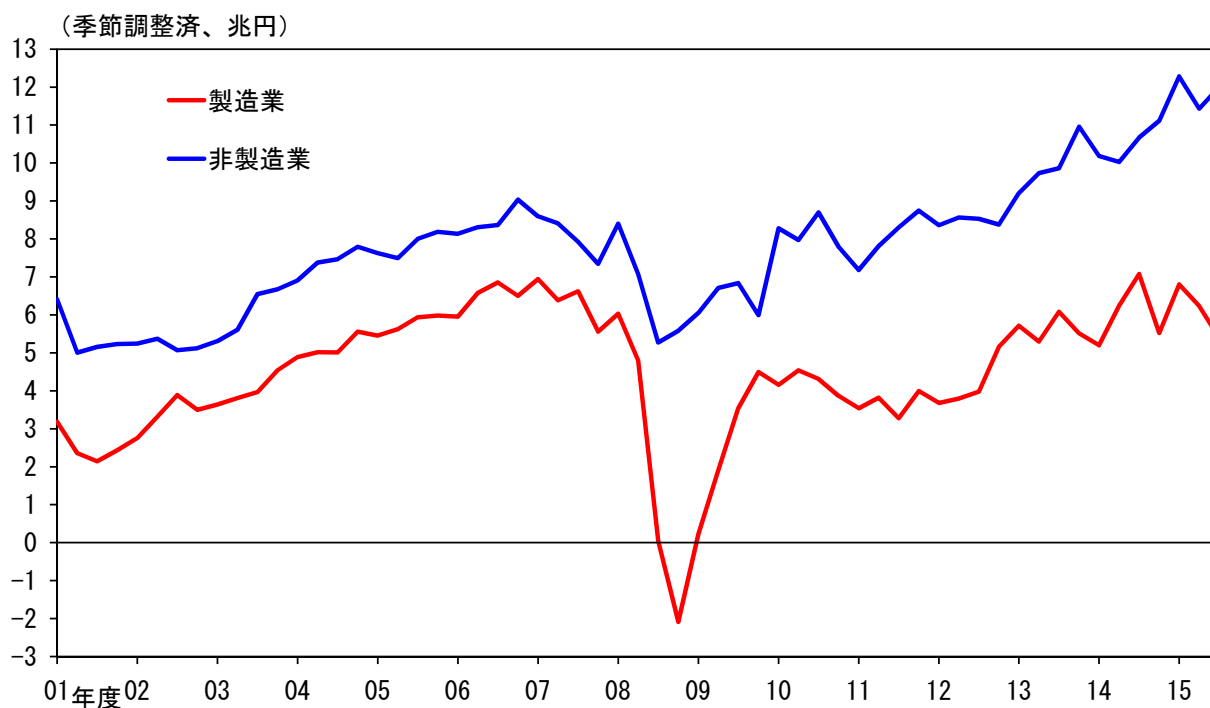
# 最近の金融経済情勢と金融政策運営

— 沖縄県金融経済懇談会における挨拶 —

2016年3月3日  
日本銀行副総裁  
中曾 宏

図表 1

## 企業収益：経常利益

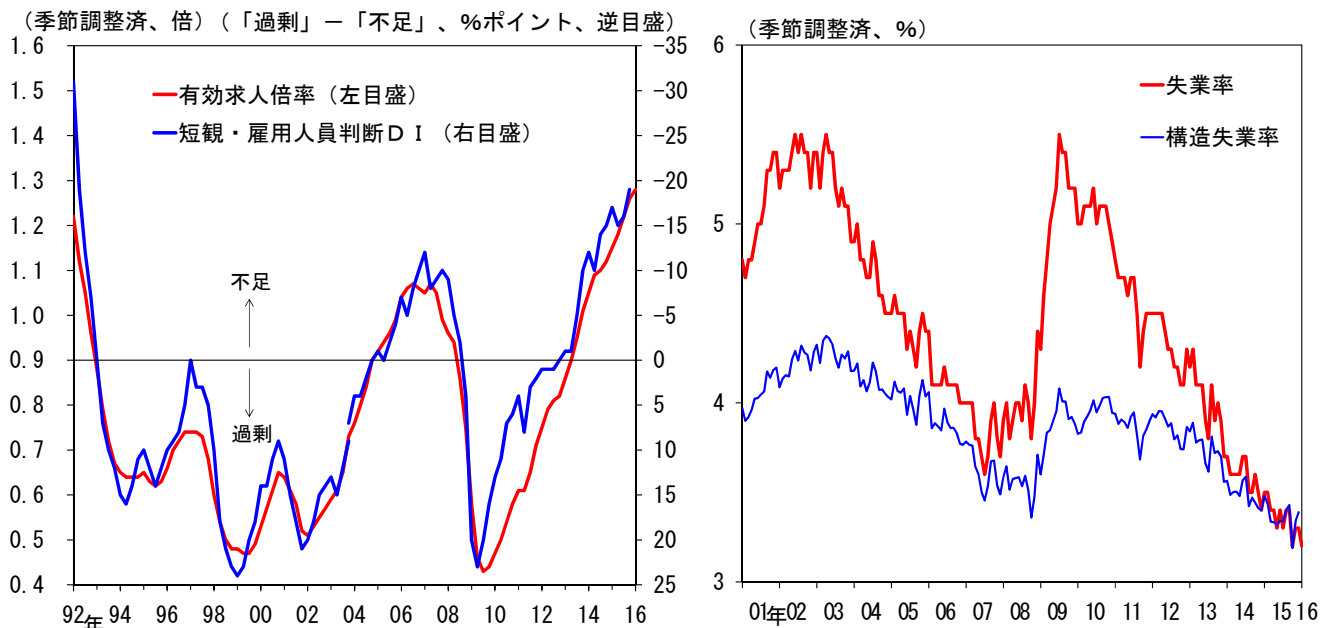


(注) 経常利益は、金融業・保険業を除く。  
(資料) 財務省

# 労働需給

## 有効求人倍率と雇用人員判断DI

## 失業率



(注) 1. 短観・雇用人員判断DIの2003/12月調査には、調査の枠組み見直しによる不連続が生じている。  
 2. 構造失業率は、日本銀行調査統計局の試算値。  
 3. 2016/1Qは、1月の値。  
 (資料) 厚生労働省、日本銀行、総務省

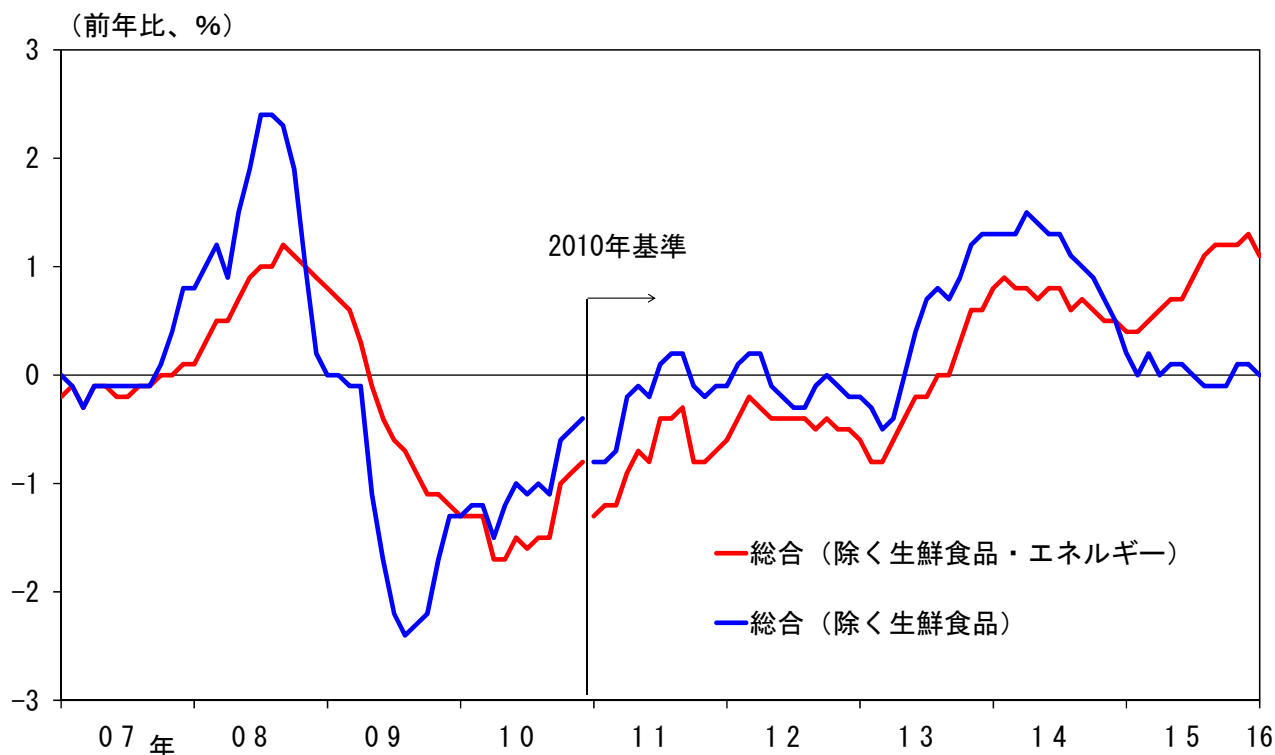
# 展望レポートの経済・物価見通し (2016年1月)

— 政策委員見通しの中央値、対前年度比、%

	実質GDP	消費者物価指数 (除く生鮮食品)	
		消費税率引き上げの 影響を除くケース	
2015年度	+1.1	+0.1	
10月時点	+1.2	+0.1	
2016年度	+1.5	+0.8	
10月時点	+1.4	+1.4	
2017年度	+0.3	+2.8	+1.8
10月時点	+0.3	+3.1	+1.8

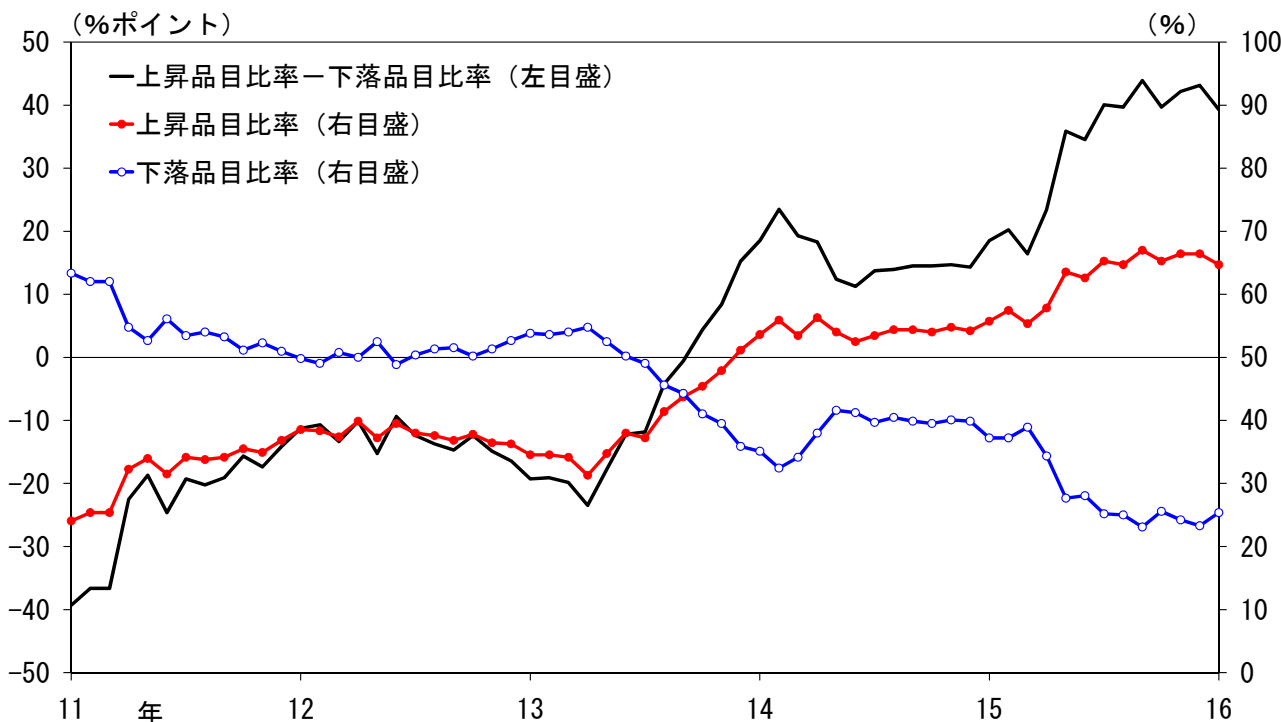
(資料) 日本銀行

# 消費者物価



(注) 消費税率引き上げの直接的な影響を調整 (試算値)。  
 消費者物価指数 (総合除く生鮮食品・エネルギー) は、日本銀行調査統計局算出。  
 (資料) 総務省

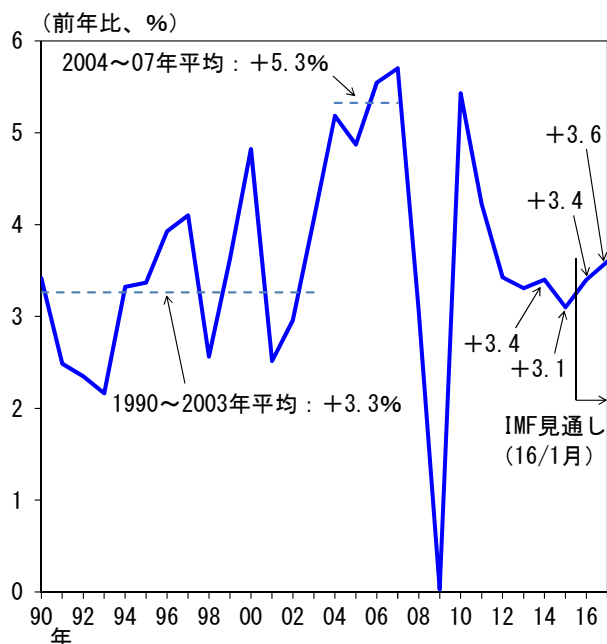
# 価格改定の動き



(注) 上昇・下落品目比率は前年比上昇・下落した品目の割合 (除く生鮮食品)。消費税率引き上げの直接的な影響を調整 (試算値)。  
 (資料) 総務省

# IMFの世界経済見通し

GDP成長率の推移



(注) 1. 2015年は見込み値。

2. ASEAN 5は、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム。

(資料) IMF

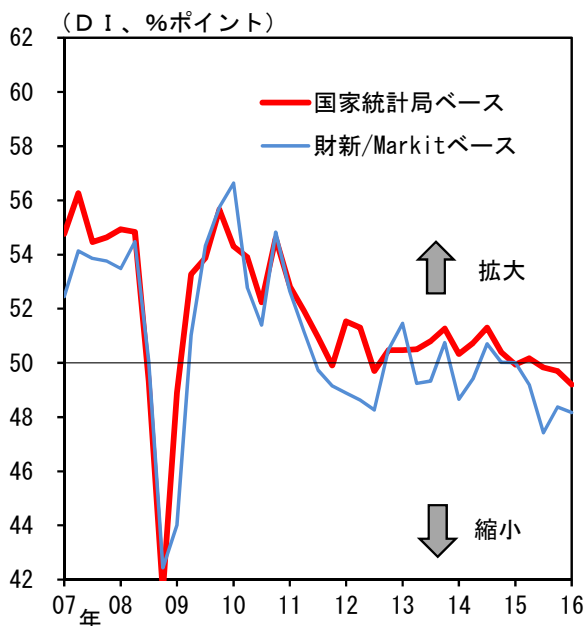
主要国成長率見通し (16/1月時点)

(前年比、%)

	2014年	2015年	2016年 [見通し]	2017年 [見通し]
世界	3.4	3.1	3.4	3.6
先進国	1.8	1.9	2.1	2.1
米国	2.4	2.5	2.6	2.6
ユーロエリア	0.9	1.5	1.7	1.7
日本	0.0	0.6	1.0	0.3
新興国・途上国	4.6	4.0	4.3	4.7
中国	7.3	6.9	6.3	6.0
ASEAN 5	4.6	4.7	4.8	5.1

# 中国経済

(1) 製造業PMI

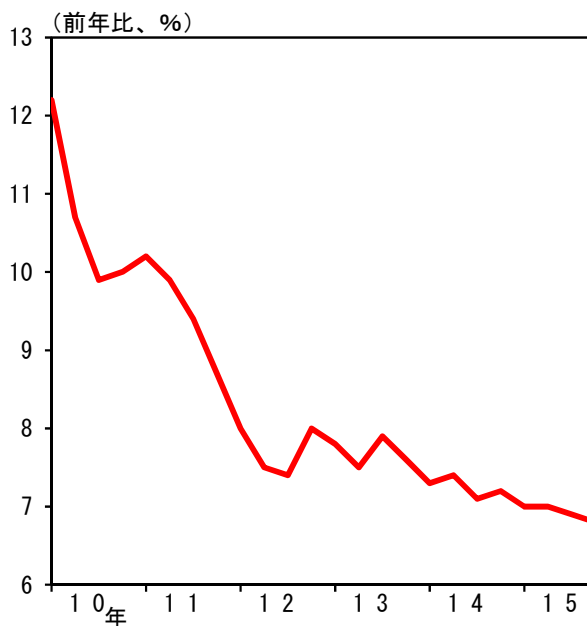


(注) 1. 財新/Markitベースは、Caixin中国製造業PMIを使用。

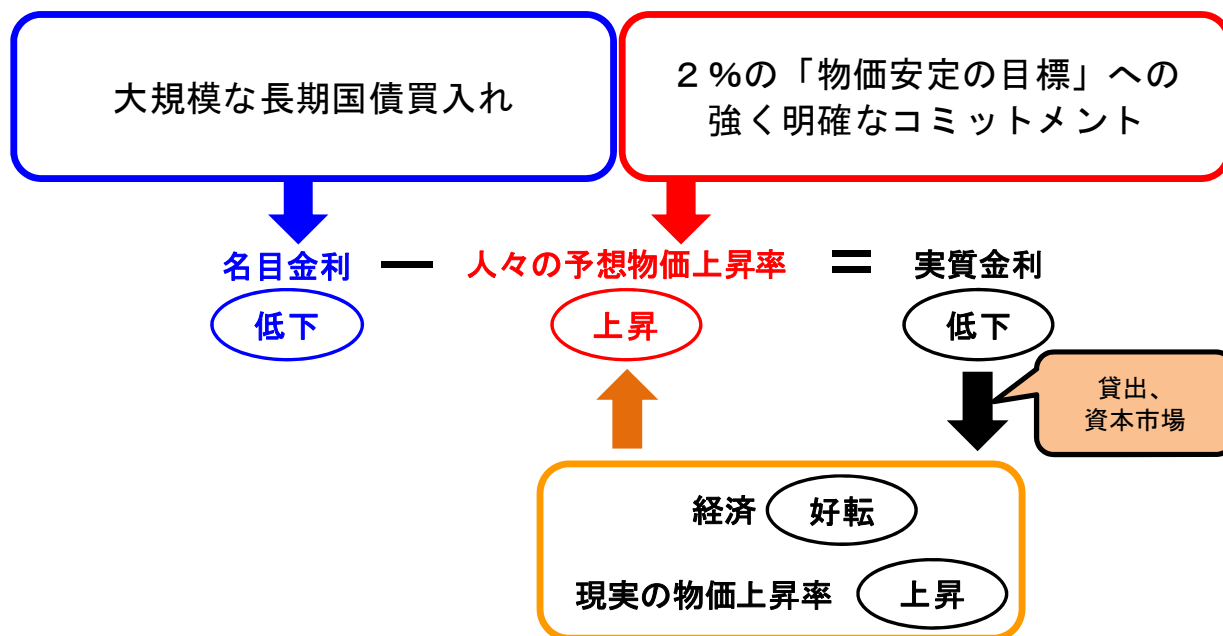
2. 2016/1Qは、1~2月の値。

(資料) Markit (© and database right Markit Economics Ltd 2016. All rights reserved.)、CEIC

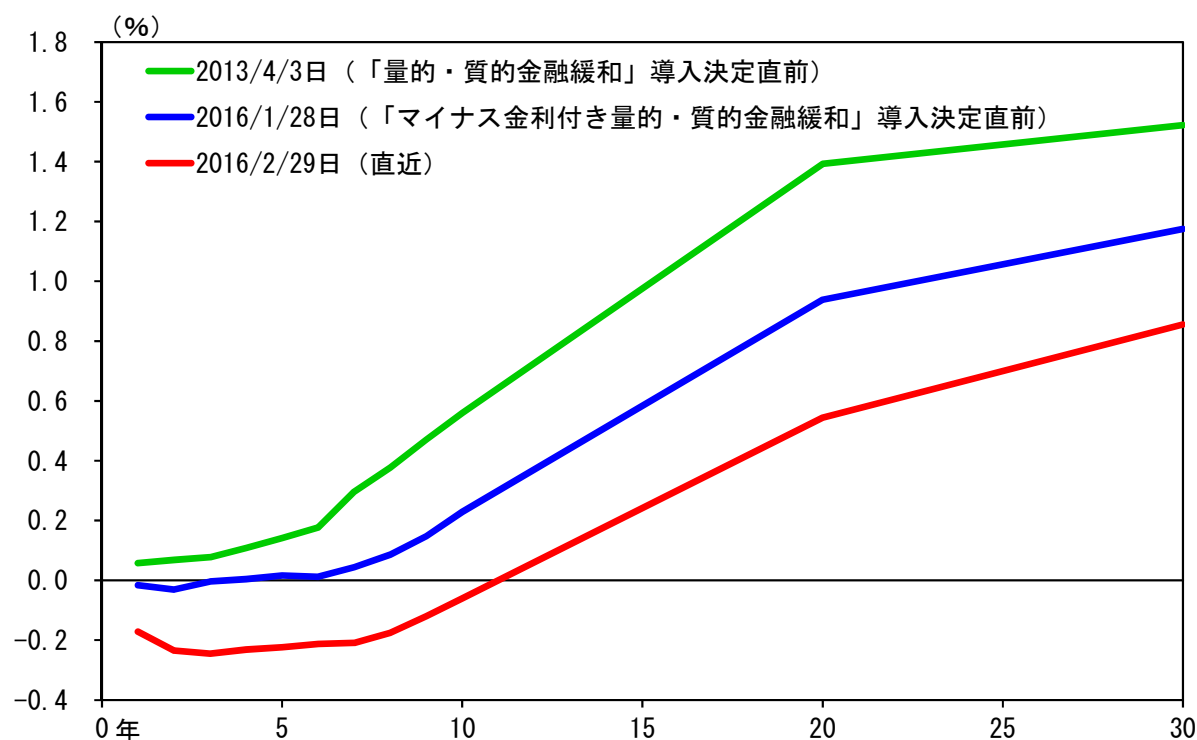
(2) 実質GDP成長率



## 「量的・質的金融緩和」のメカニズム



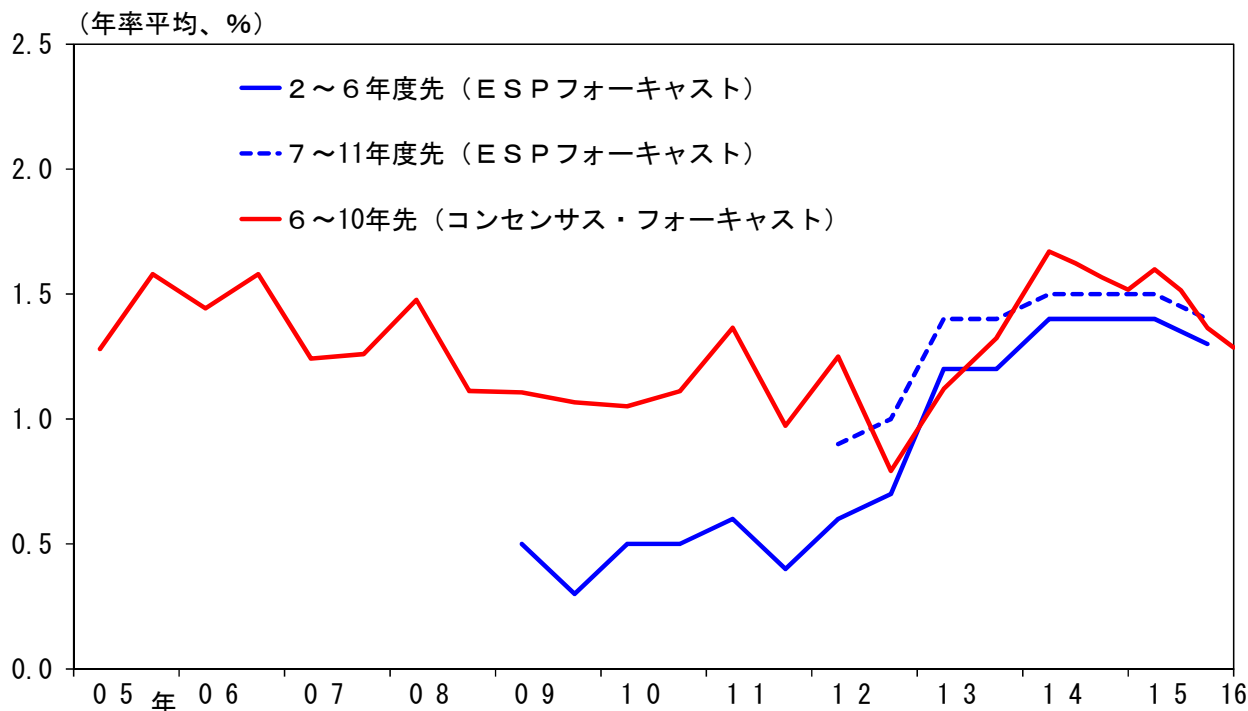
## 日本国債のイールドカーブ



(資料) Bloomberg

図表10

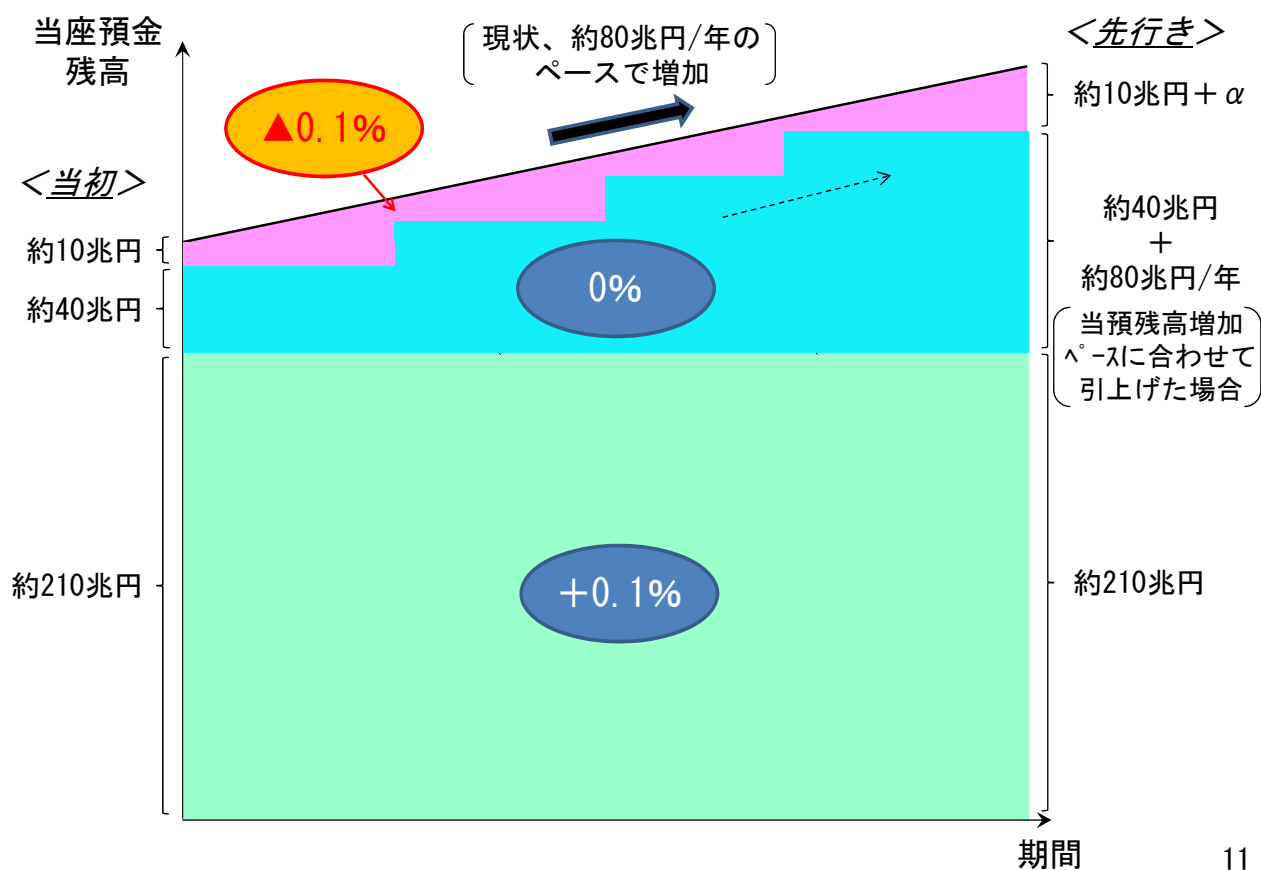
# 予想物価上昇率



(注) ESPフォーキャストは、消費税率引き上げの影響を除くベース。  
 (資料) Consensus Economics「コンセンサス・フォーキャスト」、JCER「ESPフォーキャスト」

図表11

# 3段階の階層構造



## 欧州におけるマイナス金利政策の概要

	ユーロ圏	デンマーク	スイス	スウェーデン
政策金利	預金ファシリティ 金利等	中銀発行譲渡性 預金 (CD) 金利	3か月 スイスフランLIBOR	レポレート (中銀発行証書 オペに適用)
導入決定時期	2014年6月	2012年7月 2014年9月	2014年12月	2015年2月
付利の対象 となる中央銀行 負債と適用金利	所要準備 : +0.05% 預金ファシリティ等 : ▲0.3%	当座預金に対して 基準額以下:ゼロ% 基準額超 :▲0.65% (基準額超部分は中 銀CDに振り替えら れる)	当座預金に対して 基準額以下:ゼロ% 基準額超 :▲0.75%	中銀発行証書オペ : ▲0.5% ファインチューニン グ・オペ : ▲0.6% 預金ファシリティ : ▲1.25%

(資料) 各国・地域中央銀行